



グリーンツーリズムの先駆者、 宮田静一さんのぶどう園直売所

安心院のグリーンツーリズムを支え、牽引し続ける宮田静一さん(国が認定する「観光カリスマ」でもある!)と、息子さんご夫婦で営むぶどう園「王さまのぶどう園」。隣接する直売所では、オリジナルブランドの巨峰や、ハウスワインやジュース、ジャム、ソフトクリームが購入できる。農園内には農泊ができる「王さまの小屋」があり、ぶどう畑での農作業なども体験できる。

■王さまのぶどう直売所 ☎0978・44・0155 大分県宇佐市安心院町下毛1193・1



自然の力を体感できる、 安心院近くの衝撃の湯

大分では珍しく温泉の少ない安心院だが、車で30〜40分ほどで湯布院や別府といった温泉街にもアクセスできる。ここ「塚原温泉火口乃泉」は、険しい山道を登った先、活火山の伽藍岳の火口付近にある源泉で、湯布院の秘湯と呼ばれる湯。泉質は極めて強い酸性で、飲むとレモンをかじっているような衝撃のすっぱさ。また、多量の金属イオンを含んでおり、皮膚病にいいと昔から湯治客が絶えないという自然の医者のような温泉。安心院に出掛けたならば是非立ち寄ってほしい名湯だ。ちなみに、湯煙わき立つ火口の見学も可能。

■塚原温泉火口乃泉 ☎0977・85・4101 大分県由布市湯布院町塚原1235
※雪などの影響で休業する場合があります。冬季は特に事前問い合わせを



1. 「龍泉亭」こと矢野家の全景。龍泉亭という屋号の由来は、敷地内に湧く岩清水から
2. 豆腐かこんにやくの手作り体験もできる(事前申し込み)
3. 食材は全て地産のもの。串揚げにした鶏肉は地元の豚肉のおすそ分け

■龍泉亭 ☎0978・44・4863 大分県宇佐市安心院町上内河野509
※安心院の農泊についての問い合わせは
「NPO法人 安心院グリーンツーリズム研究会」☎0978・44・1158
<http://www.ajimu-gt.jp/>

グリーンツーリズムとは?

農村や漁村に滞在し、自然や文化、人々との交流を楽しむ余暇のことで、欧州では農村滞在型のパカンスがひとつのスタイルとして定着している。日本では約15年前、安心院の「農泊」から始まった。今では様々な形で広がっており、特に豊かな自然に恵まれた九州では、森林セラピー基地に認定された福岡県うきは市の森林散策^{※1}、農家の手伝いをして賃金を受け取りつつ過ごす宮崎県西米良村の「西米良型ワーキングホリデー制度」^{※2}など、その土地ならではの自然環境を活かした休暇のかたちを提供している。

問い合わせ
※1 うきは市農林・観光課 ☎0943・75・3111 ※2 西米良村総務企画課 ☎0983・36・1111

行くなら賢く! 九州のバス旅がお得になる 「飛んで! 飛んで! 九州キャンペーン」やってます。

九州のバスが乗り放題になるお得なチケット「SUNQパス」が期間限定半額中!
3月31日(木)までの期間中、JAL・ANA・SNAの対象旅行商品・対象航空券を購入すると、九州内および山口県下関市周辺の高速バス、および一般路線バスのほぼ全線と一部の船舶が乗り放題となるフリーバスチケット「SUNQパス」をお得に購入できます。

※対象航空券/JAL:スーパー先得、先得割引 ANA:スーパー旅割、旅割、乗継旅割 SNA:SNA/バーゲン、バーゲン28ランクA、バーゲン28ランクB

■全九州+下関が回れるチケット 3日間 5,000円(通常価格10,000円) ■全九州+下関が回れるチケット 4日間 7,000円(通常価格14,000円) ■北部九州+下関が回れるチケット 3日間 4,000円(通常価格8,000円)

▶SUNQパスについて詳しくは ☐ <http://www.sunqpass.jp>

▶問い合わせ/九州高速バス予約センター ☎0120・489・939(携帯・PHSからは092・734・2727)

キャンペーンについての問い合わせは、tonde@welcomekyushu.jp(主催:九州観光推進機構)まで。

九州の旅の情報は 九州の旅 検索 九州の旅 九州観光情報サイト <http://www.welcomekyushu.jp/>

安心院へのアクセス



- 羽田空港
- ✈ 飛行機...約1時間40分
- 大分空港
- 🚌 バス:中津・宇佐方面行き...約1時間
- バス停「法鏡寺」下車
- 🚌 バス:安心院行き...約20分
- バス停「安心院」(終点)下車



第1回 | 大分県 |

3回にわたってお届けする、九州の大地の素晴らしさを噛み締めに行く九州旅。第1回は、農村と都会を繋ぐ素敵な旅のかたち「グリーンツーリズム」先駆けの地へ。

豊かで美味で温かい。 農泊という、旅のかたち。

大分県北部、人口約7100人の山深い小さな農村「安心院」。ワインとすっぱいぶどうが有名だけど、何より魅力的なのは農家のお母さんたちが支えるグリーンツーリズム。読み方すら知らなかったこの町が、今では恋しいふるさと。「ようこそいらつしやいました。迎えてくれたのは龍泉亭」という看板で、農泊に取り組み矢野英子さん、俊彦さんご夫婦。すぐ隣に山が迫る、2階建ての家。庭には放し飼いの人なつこい鶏、防空壕のような蔵には巨大な漬物石が載った樽がいっぱい。「一個お食べ」ともらった梅干しを酸っぱい顔で頬張り、荷物を置いておこたに入る。なんてワクワク、ソワソワするんだろう!

農作業を手伝ったり、豆腐やこんにやく作りを体験したり、農道を散策して水底まで透明な川に出合ったり。太陽が沈んだら、お待ちかねの晩ご飯。収穫した野菜、山のきのこや自然薯、野生の猪、だんご汁。主役は身のしまった

鱧鍋。片手には安心院のぶどうを使った濃厚でフルーティ極まりない地ワイン。これが本当に美味で、しかも飲むそばから注いでいく減らないという幸せ。美味しいなあ。しみじみ声が漏れる度、英子さんがにこり。「ここに嫁に来ていゝんなんの覚えて。今まで育ててもらった恩返しでもあるんよ。世の中はほんとに前に進んでくけど、せつなくやつてきたこと、昔から受け継がれてきたことを、グリーンツーリズムの中で残していきたいと思ってるの」と、英子さん。時には田舎が煩わしいと思うこともあったけど「自分でいいと思わんとね。そう気づかせてくれたのが、今まで泊まった4000人もの人たちだった」。

安心院から始まり九州全域、日本全国に広がったグリーンツーリズム。皆さんも行きつけの農家に出合えたら、どんなに楽しいかと思えます。それにしても、別れの朝があんなに寂しい旅は初めてだったかもしれない。



英子さんは、農山漁村で活躍する「おかあさん」を対象に国が認定する「農林漁家民宿おかあさん100選」にも選ばれた。俊彦さんは元中学校の校長先生で、威厳たっぷり。お2人とも何も飾らず、自然体で迎えてくれる。ちなみに安心院での農泊の受け入れ農家は、龍泉亭を含めて22軒。滞在客は年間約1万人にものぼる。